

【別紙2】

大阪市立大正東中学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付・加算配付】 実施報告書（補足説明資料）

本校では、全国学力・学習状況調査、全国運動能力・運動習慣等調査の結果等から、学力については、基礎基本の定着、思考力・表現力の育成、自主学習への取り組みに課題がみられる。

道徳性・社会性については、防災意識や人権感覚の育成に一定の成果が見られるが、規範意識や自尊感情には課題が残る。

健康・体力の保持増進についても、朝食の喫食率や薬物乱用に対する問題意識の育成に成果が見られるが、体力の向上や、健康な生活習慣に対する意識には課題が残る。

そのため、校長経営戦略支援予算（基本配付）を活用した取り組み1として

① プロの実演、競技を鑑賞したり実際に体験すること、また美術館など文化的、芸術的施設の見学により、本物の技術・芸術の素晴らしさを知る。
また、正しい鑑賞の仕方やマナーを学ぶ取り組みを実施した。

② 評価B

11月8日に和太鼓の演奏を鑑賞したが、事前に人権教育の取り組みも行い、生徒のアンケートからは感動したことが感じられた。

次に取り組み2として

① 必要とするすべての教室へのプロジェクター設置を行う。

② 評価B

一昨年から取り組んできたが、今年度末でほぼほぼ完了している。ただ、教室によって設置状況の改善の必要が生じているが、それは次年度の予算で行う予定である。

校長経営戦略支援予算（加算配付）を活用した取り組み1として、

- ① 読解・記述・表現などコミュニケーション能力の育成に向けた取り組みを実施
計画に基づき各教科、道徳、総合的な学習の時間において実施する。
そのために、タブレットで活用するデジタルコンテンツを購入する。

② 評価C

タブレットドリルを活用して、基礎基本の一層の定着が期待されるが、教員の活用能力に個人差があり、全体の向上が必要である。

情報モラル教育は、喫緊の課題であるが、日々の変化により多様化している。
情報モラル教育ソフトは指導内容を深められるがやはり教員側の活用力に課題がある。

取り組み2として

- ① 読解・記述・表現などコミュニケーション能力の育成に向けた取り組みを実施
計画に基づき各教科、道徳、総合的な学習の時間において実施する。
そのために、主体的、対話的、深い学びの全授業への導入を図る。準備として、
プロジェクトチームを立ち上げるとともに、全教員対象の校内研修を実施した。
プロジェクトチームのメンバーには他府県や大阪府内の他市での研究発表会へ参加させた。校内研修会には、外部から講師を招いた。

② 評価C

上記の内容については、ほぼ実施したが、主体的、対話的、深い学びの授業への導入は新年度当初からとした。

年度目標の達成状況、総評

評価B

『学力・体力』の項では、「チャレンジテストの標準化得点」では、3年生が5
教科平均 - 1.1でポイントであった。

学校アンケート「考えを深めたり広げたりできるか」の項では、肯定的な回答
をする生徒は昨年度より1ポイント増であった。（76%）

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において男子は8種目のうち7
種目が女子は8種目のうち4種目が大阪市平均を超える、体力合計点（総合点）も
大阪市平均を上回る結果となった。

体育の授業において、柔軟運動や補強運動を重点的に行った成果が現れている。
しかしながら、男女とも20mシャトルランの結果が大阪市平均より下回っており持久力に課題がある。

『ICT環境』については、生徒が活動する全ての教室はもちろん予備教室や多目的室にもプロジェクターの設置を完了し環境整備を行った。今後は、タブレットの使用についても積極的に行えるように整備していきたい。

『安心・安全』に関わる項では、「いじめ」の解消率は93%で全市共通目標より2ポイント下回った。「学校の規則を守っていますか」について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答えた生徒は目標を13ポイント上回る93%であった。

「暴力行為」は、30件で昨年より14件減少している。

「不登校」は、20人で昨年より10人減少している。「不登校」が減少した要素は、学校と区役所でスクリーニング会議し、その結果をふまえ、不登校生徒に少しでも登校刺激になるようにとトライに協力してもらい別室での学習指導等をしていただいているのが大きな要素となっている。

「防災」については、区役所・消防署・地域との連携は年々深まっているので今後も継続して行いたい。

②学校関係者評価

授業研究を行うなど、生徒の学力向上のためにできることをしっかりと行ってほしい。

生徒アンケートの中の「校内の清掃が行き届いているか」の項についての肯定的回答が高くないように感じる。校内美化についても学力向上につながると思うので、しっかりと取り組んでほしい。

「いじめ」や「不登校」の問題についてはとても気に入っている。難しい問題もあると思うが、なくなることを目標に今後も取り組んでほしい。

自尊感情を高めるような取り組みをもっと入れてほしい。ほめることができるような取り組みが必要だ。自己肯定感、自分に自信が持てるようにしてほしい。

大正東中の生徒が、将来地域を背負っていけるように育ててほしい。そのために必要な、基礎基本を学校が中心となり区役所など関係機関と協力して身につけさせてほしい。

地域としては、そのために必要な援助は惜しまない。